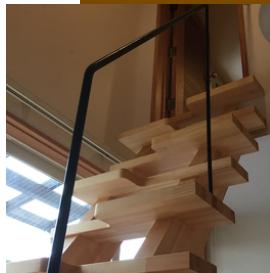


あなたの暮らしを豊かにする 本物の家づくり



特集

自然な家、という選択。

私たちが大切にしている3つの柱

つくり家工務店の家づくりQ&A
リフォーム事例

発行

株式会社つくり家・工務店

〒197-0802 東京都あきる野市草花3773-2

TAKE
FREE

Message

つくり家工務店
代表 河辺史

自然と共に、自分らしく。 「本物の家」をあなたと

自然な家、という選択

私たちがつくる「自然な家」は、
自然素材のぬくもりと、住む人の自由な発想が響き合う、
あなたしさがにじむ家です。

便利で効率的な生活に囮まれていると、
人は知らず知らずのうちに本能や感覚を鈍らせててしまいます。
でも、自然の中にいると、それらがゆっくりと呼び覚まされていく——
そんな経験はありませんか？

木や土などの素材が生み出す心地よさ、光や風を活かした省エネ設計、
そして時間と共に深まる味わい。

性能や効率だけではなく、
「ここにずっと居たい」と思える空気感を大切にしています。



大工 河辺史の原点から

私が若い頃にカナダの大自然を旅し、
ユーコン川をカヌーで下ったとき、
感じたのは「自然の中での孤独」ではなく、
「自然と共に生きる心地よさ」でした。

この感覚を、家というかたちの中で人に届けたい。
そう思ってから、
ログハウスから古民家まで、30年以上かけて学び続けてきました。

和と洋、伝統と現代。
その知恵と技術を活かして、「本物の家」をつくっています。



「本物の家」とは何か？

それは、住む人が素のままで過ごせる家。

あなたの価値観や暮らし方と向き合いながら、
一緒にかたちにしていく家です。

何を大事にしたいのか、どんなふうに暮らしたいのか。

たくさん話しながら、その本質を汲み取り、共に設計していきます。

私たちが大切にしている3つの柱

1. 自然との調和

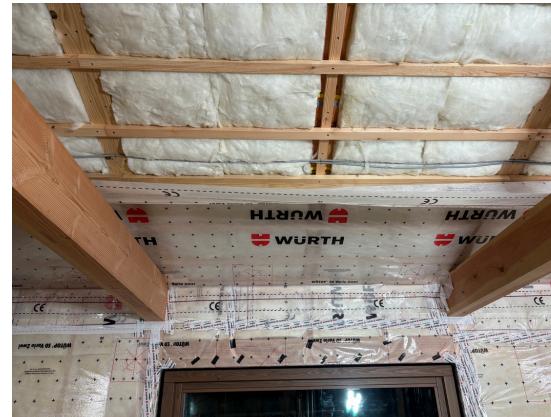
人はもともと自然と共に生きる存在です。

木の香り、風の通り道、庭の緑。

自然素材の家には、五感をととのえる力があります。



4



2. 安心感

構造的な丈夫さ、断熱・気密・換気の性能。

暮らしやすさと耐久性を両立させた設計で、
家族の未来を支えます。

そして何より、「帰りたくなる」「ずっといたい」と思えること。

気を張らず、自分らしくいられる空気感も、
安心感のひとつだと私たちは考えます。

5

3. 自分らしさ

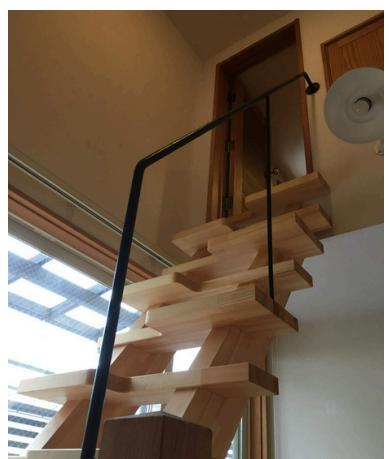
「こうしたい」「これはイヤ」

そんな感覚的な声こそが、家づくりの出発点です。

遠慮せず、思ったことをどんどん話してください。

あなたの本音の中に、

私たちは「本物」のヒントを見つけていきます。



6



一緒に育てていく家

この3つの要素が重なり合い、

あなたの価値観が根を張ったとき、

家は「本物の家」となり、時とともに育っていきます。

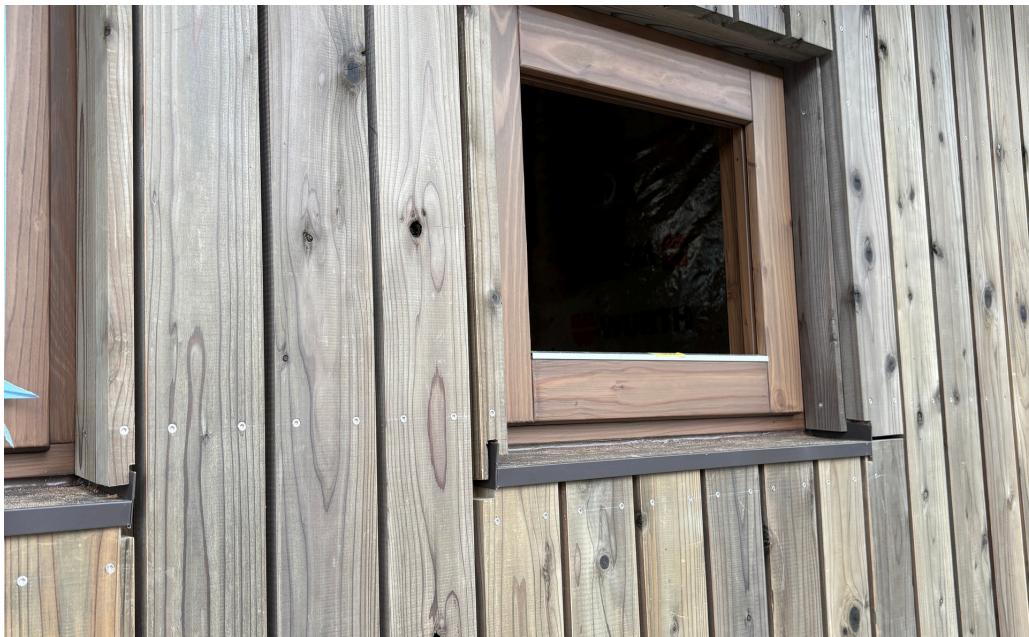
飾らず、手をかけながら、少しずつ馴染んでいく。

そして20年、30年後、もっと好きになれる家へ。

私たちは、そんな家を

あなたと共につくりていきたいと思っています。

7



つくり家工務店の家づくりQ&A

Q1. 自然素材の家に憧れはあるけど、実際どうなんですか？

つくり家工務店では、できるだけ自然素材を使うことにこだわっています。

無垢の木や漆喰、珪藻土といった、呼吸する素材を使うことで、家そのものが呼吸をしているような心地よさが生まれます。

一方で、季節や経年変化でひび割れたり、すきまができたりします。

これも自然なこと。構造的に問題になることはまずありません。

「五感が喜ぶ家」をぜひ体感してください。

Q2. 断熱や気密はちゃんと考えられていますか？ 断熱や気密性能は、どのくらいのレベルなんですか？

はい。断熱と気密性能は、特に力を入れている部分です。

この地域ではなかなか同じレベルで取り組んでいる工務店は少ないと思います。

しっかり断熱・気密を取ることで、家全体が、「なんとなく暖かい、なんとなく涼しい」というストレスのない、快適な住環境を実現しています。

電気代の削減にもつながりますし、長く住む家こそ基本性能が大事です。

つくり家工務店の標準仕様で、

- **断熱性能 (UA値) : 0.3W/m²・K (省エネ基準は0.87(5地域)) (2.9倍)**
- **気密性能 (C値) : 0.3cm³/m² (業界平均より圧倒的に良い数値)**
 - C値 2.0** (昔の基準) → 隙間が結構ある
 - C値 1.0以下** → 現代の高性能住宅の最低ライン
 - C値 0.5以下** → かなり気密性が高い
 - C値 0.3以下** → 超高気密住宅レベル (プロの施工技術が必須)

「数値は難しい……」という方にもわかりやすく、「夏はエアコン1台で家全体が涼しい」「冬も足元から暖かい」「結露がなくなる」「防音効果アップ」「効率的な換気」そんな暮らしを実現しています。

Q3. デザインはどんなことを大切にしていますか？

「できるだけシンプルに」を大切にしています。

家の形も真四角を基本とし、屋根も寄棟よりシンプルな片流れや切妻を好んでいます。

無駄なでこぼこがないことで、構造的にも強く、雨漏りなどのトラブルも防げます。

また、コスト節約、メンテナンスのしやすさが上がります。

シンプルさが結果的に美しさにつながると考えています。

そして、シンプルな中にさりげなくスペイスを加えることも忘れていません。

Q4. 古民家風の家や、個性的なデザインにも対応してもらえますか？

もちろんです！

古民家再生やカナダでのログハウス建築の経験もあるので、幅広いデザインに対応可能です。

和風、モダン、ナチュラル……、お客様の「こんな家に住みたい！」を実現します。



10



Q5. 間取りはどんな考え方ですか？

間取りもシンプルに、そして「メリハリ」を大切にしています。リビングはできるだけオープンにし、家族が集いやすく、気配を感じやすい空間に。

一方で、プライベートな空間はしっかりと守る。

広さとこもり感、このメリハリを意識して設計しています。

また、迷路のような間取りにはしません。「暮らしやすさ」第一です。

でこぼこな家は風水的にも良くないと言われます。

構造的にもシンプルが一番強いのです。

Q6. メンテナンスが楽な家って、どういうこと？

たとえば、ベランダは構造体と一体化した造りにせず、後付けタイプにしています。

これは、雨漏りリスクを減らすためと、腐食や劣化を前提として考えれば、将来的に修理がしやすくするためです。

ある一部を修繕するために、問題ないところまで壊さなければならなくなることを減らす気配りを新築時から考えます。

「簡単に直せる」「交換しやすい」構造を意識して設計しています。

11



Q7. 建てた後、メンテナンス費用はどれくらい？

一説には、50年家をもたせるためには、最初に建てた費用の1/3かかると言われます。

これを、設計の工夫と素材選びで、メンテナンス費用を減らすようっています。

例えば、雨漏りしやすいベランダは避けたり、メンテナンスが少ない外壁材を選ぶなど。

結果的に、大きな修繕費用を抑えられる家になります。

Q8. 打ち合わせで、自分たちの意見や希望をちゃんと聞いてもらえますか？

はい。

つくり家工務店は「一緒につくる家づくり」がモットー。

「こんなこと言っていいのかな？」ということでも、ぜひ聞かせてください。

お客様の意見や希望が実現しなかったとしても、何らかの形での意見を反映させたいと思います。

お互いを知るためにも、遠慮なくお話しください。

理想の暮らしを、共につくっていきましょう。

Q9. 職人さんの腕や人柄が気になります。 安心して任せられますか？

はい。つくり家工務店の職人は、技術はもちろん「人間力」にも自信があります。

これは、私が20年近くこの土地で仕事をしてきた中で築いてきた財産でもあります。

私に賛同してくれ、人格、技術に間違いないのない人にお願いし続けた結果、残った人たちです。

彼らが、細部まで手を抜かず丁寧に仕上げます。現場でのコミュニケーションも大切にしているので、安心してお任せください。

Q10. 自然素材の家って高いイメージがありますが……

確かに材料費や手間はかかります。

でも、経年劣化ではなく「経年美化」を楽しめる家になるので、結果的にはお得だと思っています。

質感や性能は、お値段以上の価値を感じることができると私は思っています。

長持ちして、維持費が少なくて済む自然素材は、10年20年と暮らしていく中で見ると、コストパフォーマンスが高いです。



Q11. 他の工務店で無理だと言われたことでも相談できますか？

「無理」と言われたことこそ、うちに相談してください。
もちろんあなたの100点満点にはならないかもしれません。
でも80点でもお客様の想いに応えたいと私は考えます。

そのためにどうすればいいか、私の引き出しの中からいくつの案も引っ張り出し、合わせたり、削ったりしながら「無理」から「可能」にもっていきたいと思います。

Q12.ハンモックやオリジナルの造作家具は頼めますか？

大歓迎です！
例えば、ハンモックを設置したいというご要望には、専用のロフトスペースを設計したこともあります。
手すりもアイアンでオリジナルデザインを作ったり、「遊び心のある空間」づくりは得意です。

Q13.家づくりって大変そうだけど、楽しめるんですか？

楽しいですよ！
人生の中で一大イベントの一つです。楽しまない手はありません。

一緒に考え、試行錯誤して形になっていく過程がワクワクします。
「こんなことしたい」をどんどん聞かせてください。
その思いを叶えるのが、つくり家工務店の仕事だと思っています。



昔ながらの和室とキッチンを 古民家のような空間へリフォーム



Y邸

大きな変更工事をすることなく、二世帯住宅へリフォームすることになり、これまであまり使われてこなかった和室を親世帯のリビングへ。

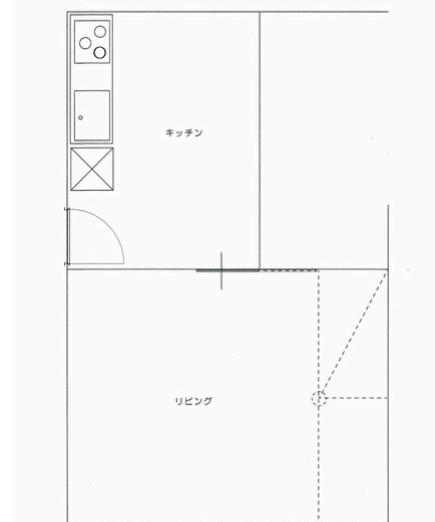
たたみから使いやすい無垢板の床にかえ、落ち着きのある古民家仕様にしました。隣接するキッチンも、使いやすさと品の良さを感じられるウォルナットのオーダーメイドキッチンに作り替え。

大きな掃き出し窓から緑あふれる庭が眺められ、穏やかに過ごせる空間になったのではないでしょうか。

また、床断熱の強化、内窓の設置、さらに省エネ効果の高い熱交換型のロスナイ換気扇を入れることで、温度変化の少ない過ごしやすい空間にもなっています。

完成：2023年 所在地：大田区

リフォーム部分：和室10畳、キッチン2坪 施工期間：1ヶ月



和室：畳、天井、床柱を撤去し、珪藻土塗りとサクラ床板に

Before



床の間と押入れのある6畳の和室。両開きの襖で隣の部屋と
続き間になっていました。

After



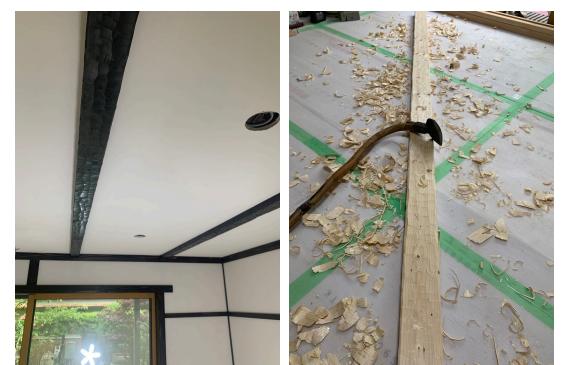
床の間、押入を撤去することで2畳分のスペースが広がりました。
壁と天井は珪藻土を塗って仕上げ。サクラ材のフローリングで明るい雰囲気に。



畳を取り外し、目透かしの敷目天井を解体撤去することで、和室の雰囲気を
なくします。開口部はふさいで壁にしてしまいます。

ちゅうな仕上げの化粧梁と
枠材で古民家仕様に

古民家風を演出する化粧梁。ちゅうな
ではつた”不規則な形の連続が、不思
議と心を和ませます。



つくり家工務店とつくる家・001

キッチンへ続く襖戸をオリジナルの木製片引き戸へ

Before



After



ウォルナット材のオーダーキッチンに合わせて、間仕切りの引き戸もオーダーメイド。ステンドグラスを入れて落ち着いた雰囲気に。

キッチン：オリジナルのウォルナット材仕様

オーダーメイドにすることでカウンター材、扉の仕様（引き出し、オープン等）、把手、シンク、水栓、設備などを自由に選択できます。無機質になりがちな空間を長時間いても飽きない場所に。



使いやすさと木の温かみを兼ね備えたキッチンにリフォーム。ガラス塗料でコーティングすることで木のカウンターを実現しました。

築40年の賃貸マンションを 使いやすくフルリノベーション



Tビル

築40年ほどの5階建ての小さな賃貸マンションの外壁塗装、個室2部屋フルリノベーションを行いました。

築40年ほどになる5階建ての小さな賃貸マンション。

1 フロア、 1 室という変わったつくり。

玄関から左右に振り分けになっており、左手に8畳の和室、右手に細長いDK、6畳の和室が続く間取り。

今回フルリノベーションでリフレッシュしました。

「アートな人たちの集まる場所にしたい」というオーナーの夢のお手伝いをさせてもらいました。

完成：2017年 所在地：大田区

リフォーム部分：個室→6畳寝室、6畳キッチン、8畳ワークスペース

つくり家工務店とつくる家・002

6畳寝室：畳をフローリングに変え、明るくくつろげる空間に

Before



バルコニーに面した和室は、
白い壁の明るい洋室に。

After



押入の襖も木目調の建具に。個室中心部にも光を届けたかったので、DKに
面した壁と扉に明かり取りを設けました。

6畳キッチン水回り：昭和な内装を一新しシンプルな空間に

Before



After

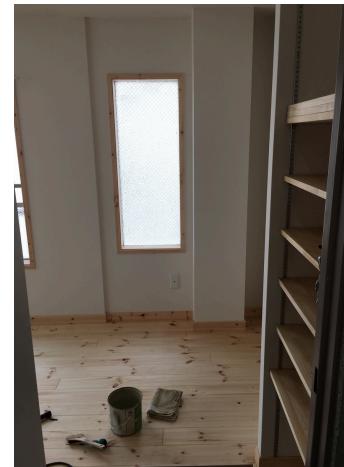


長細いキッチンスペースは、ど真ん中に洗濯機置き場が！
それはないなと思い、6畳の個室に近い端のほうへ移動

Before



After



Before



After



写真右は、玄関のたたきからDKと個室を見たところ。

Before



After



施工中



つくり家工務店とつくる家・002

8畳ワークスペース：和室仕様を作業のはかどる空間に

Before



After



押入れと床の間があったところは、オープン収納にしました。

After



和室の面影は跡形もなく消し去り、パインの無垢床で気持ちのいいスペースに。

オーナーさんも1階で帽子を作って販売しているのですが、このビルをハンドメイド作家や個人で事業をしていきたい人などが集まる場所にしたいという構想があります。

そのような人たちにピッタリのワークスペース。
木の香りとともにリラックスしてワークショップも開けると思います。
すでに、入居が決まっていた革細工の作家さんのために頑固で壊れない作業台もつくらせてもらいました。

不便なロフトを有効活用するための 仕掛けがいっぱいのオリジナル階段



I邸

2009年新築のお宅のリフォーム。使い勝手の悪いロフトを有効活用するために斬新的なロフト階段をつくることになりました。

個室の内側からロフトはしごをかけるよくある造り。モノをもって昇り降りすることは難しく、物置としての役割を果たせずにいました。1階から上がってくる階段室の吹き抜け部分が、ロフトのちょうど反対側になります。この吹き抜けの空間を利用して「2階廊下からロフトへ向けて階段を作れないか?」というご要望でした。快諾したいところですが、そこには大きな問題がありました。

完成: 2017年 在地: 杉並区
リフォーム部分: ロフト階段、ロフト開口、入口設置

Before



Before



間口が6尺（180センチほど）しかないのに、3m近く上るので急勾配になってしまい、通常の勾配では階段ができないのです。

お客様といろいろと検討を重ねた結果、できたのがこれ。

施工中



手刻みで階段材を加工。1階の階段に合わせてストリップ階段です。
ストリップ階段とは、踏み板と踏み板の間が板などでふさがっておらず、
空間になっている階段のことです。
1階から2階への階段と同じ仕様に合わせています。

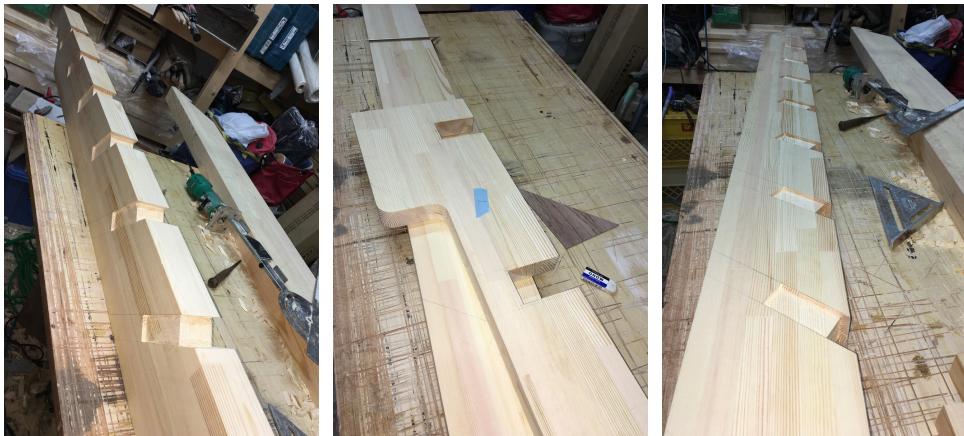
1階→2階



ちなみにこちらの1階からの階段もこだわりが詰まっています。
親柱が途中で切れていますが、2階の手すりの柱で吊っているのです。
1階の階段下スペースを有効に使いたいという施主様のご要望でした。

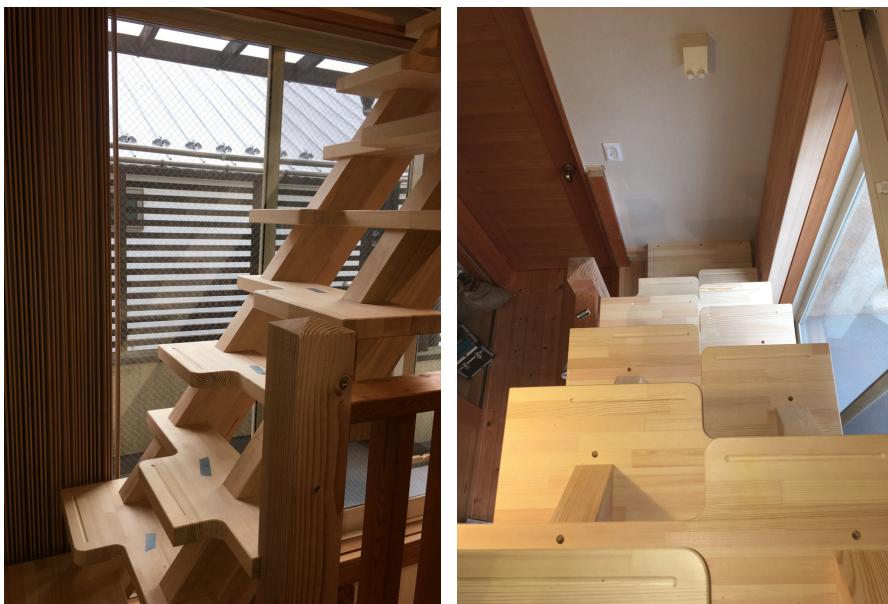
この階段に並行して上にロフト階段を設置します。

施工中



手刻みで階段を制作。組み立てていきます。そして、遂にできました。

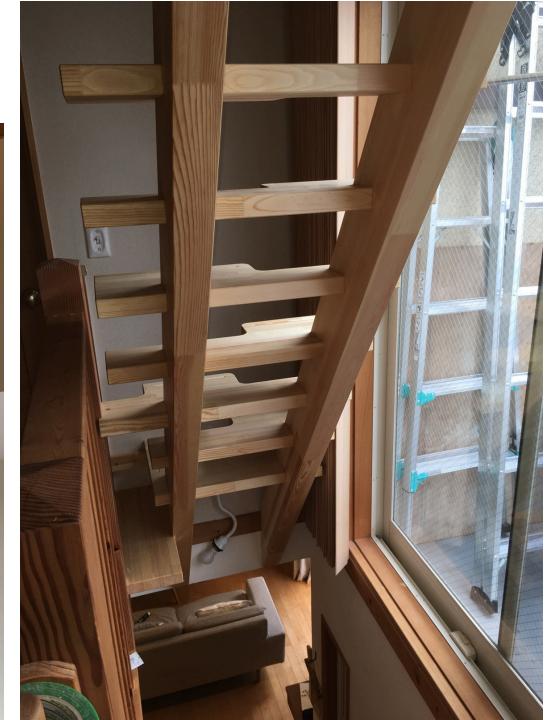
After



After



山梨の鍛冶屋さんにロートアイアン手すりをつくってもらい、完成です。
急勾配なのがわかるでしょ？



急勾配でも圧迫感なく、上りやすくするために、左右で踏み込みの幅を変えているのがわかるでしょうか。
足を出す位置、順番が決まってしまいます。

母親との同居を機に、 快適さと開放感を求めてリフォーム

Q. リフォームで、どんな空間にしたいと考えましたか？

清水夫：母は85年ずっと大阪にいたんですけども、それを決めたのが大きかったね。引き取るんだったら、もう家を買って、リフォームして住みやすいようにしようと決めて、予算をしだしたのはちょうど2年ぐらい前ですかね。

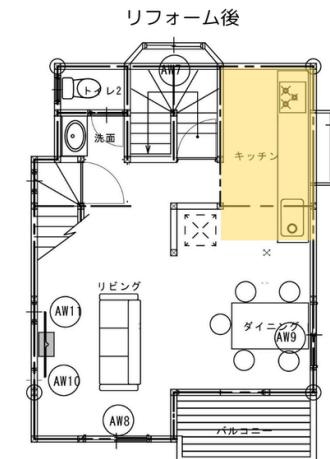
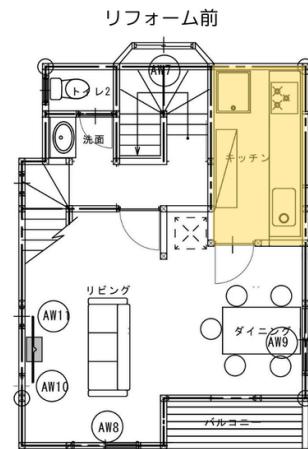
清水妻：テーマっていうか、ひろ～いオープンなところ、明るいところで過ごしたいなというね。

清水夫：1階はちょっと暗い印象があったんだよ、だからできるだけ明るくっていうのが一つ。それと、お風呂と洗面所周りができるだけ広くする。何かそういういくつかのテーマがあったんじゃない？

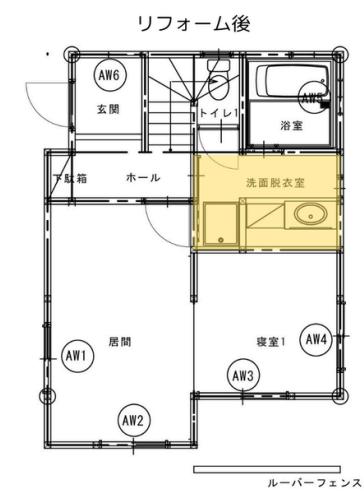
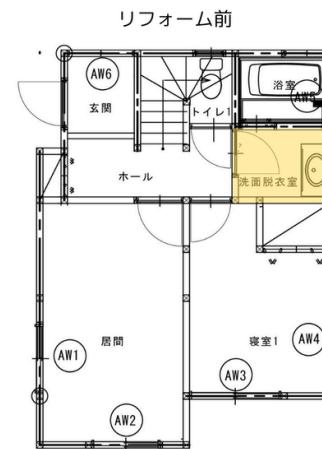
河辺：この家が1階、2階、3階っていうふうに、ある程度分かれていなくて住めるっていうのも、ありますね。

清水夫：今まで1人でお住まいだったので、ある程度、自由なスペースをしっかり持てあげないと不自由と思って。今回の1階のリフォームの一つの大きな願いでありますね。

2階：キッチン



1階：洗面脱衣室



お客様インタビュー：清水邸

打ち合わせが鍵。工務店の対応力を引き出す

Q. リフォーム中、打ち合わせで特に印象に残ったことは何ですか？

清水夫：本当に細々と面倒くさい注文をいっぱいさせてもらったなって。そういうのを全部ね、応えてもらえた。

河辺：うちとしては、そこが真骨頂じゃないですけども、どれだけね、お客さんの希望に寄り添えるかっていうところを大切にしているので。そういう意味では、打ち合わせとともにその分いろいろ長くなっちゃったりとか、糸余曲折みたいなところはあったと思います。

清水夫：条件が毎回ね、言っていることが変わってたっていうか。たぶん見積もりだけでも、7、8回ぐらいまでいってるんですけど。

河辺：そんくらいいきましたね、うん。

清水夫：パソコンに全部入ってますよ。河辺さんのできるできないの判断もあったけど、我々の間に次々と新しい思いつきがあつて、それを付け加えて。たぶんそこまでは、なかなか大手だと対応してもらえないんじゃないかな。



Q. 細かい要望をどのように伝え、応えてもらいましたか？

清水妻：キッチンの電子レンジ置き場。本当にこれは使い勝手がいい。

清水夫：こういうのは意外というかね、食器棚もね、レンジ置き場も、上（吊り戸棚）もやってくれるのは、ありがとうございます。

清水妻：細かい造作、得意とされてるんですよ。本当に狭かったから、普通の規定のサイズのものではここはものすごい狭い動線になっちゃうしね。

キッチンや洗面所で実現した細部へのこだわり

河辺：その分、ちょっとカップボードが小さくなっちゃった。でも、奥行が小さくなったってのはあるんですけど。それがやっぱり大きいですよね。

清水妻：キッチンの長さもね、すごい迷ったよね。どこまでシステムキッチンにするかをすごく迷って。ちゃんとカウンター材とか搬入できるかどうか、大変やったしね。だから、この長さにしてちょうどよかった。全部なんかね、本当にもうキッチンはこの大きさにして良かったです。

お客様インタビュー：清水邸

清水妻：洗面所は、三面鏡をすごい頑張ってくれたそうですけどね。最初はそこ1枚ガラスでさみしかった。三面鏡に絶対にしてくださいって。

河辺：そうですね。三面鏡を作るのは初めてだったんで、どんなもんかなと思って。本当に、私的には楽しんでやれました。

清水妻：洗面所こそ、これまでのノウハウを（提案してくれて）、ここに窓付けてくれる、ここは棚にするとかおっしゃって、本当に良かった。

棚はこれぐらいの幅でも2段3段にしておいてと。何かね、わ一違う（と思いました）。

無垢の木の床や紙の壁紙がもたらす新しい暮らし

Q. 実際に住んでみて、予想外に良かった点やメリットはありましたか？

清水妻：天然の床にして、紙のこの壁（オガファーザー）にして、洗濯物がすごく早く乾くようになりました。あと梅雨のときに、



今まででは梅雨だと家の中がベタベタっていうふうに、他の家ですね、うん、やってて嫌だなとジメジメすると思ったけど、そういうことはまったく感じなくなった。

3階は床が既存のフローリングのままなので、ちょっとジメジメペタペタ、梅雨時とか雨が降るとペタペタするけど、無垢板のフローリングはまったく感じたことがない。

河辺：この床の木もオイルしか塗ってないので、やはり湿気を吸う力はある。対して既製品の場合は、ウレタンっていう化学的な塗料を塗っちゃってるので、もう弾いちやうんですよね。だからどうしても湿気が溜まる可能性があります。

清水妻：壁もなのかなと思う。床と壁のおかげなのかなと思って。



「やって良かった」と思える家づくり

Q. リフォーム全体を振り返って、満足度はどのくらいでしたか？

清水妻：いやもう100点満点ですね。

清水夫：120%、いや、それでほら、やっぱり入居して、なんやかんや問題が起きたときもすぐ河辺さん飛んできてくれるし、はい。蜂の巣も取ってくれたし。

清水妻：本当に生活してて、これは残念だったねっていうのは、『コンセントの場所がここにあったらよかったね』というのがあったぐらい。それ以外に本当にないと思いますよ。



リフォームに想いを持っている人におすすめ

Q. つくり家工務店をおすすめしたい人って、どんな人ですか？

清水夫：やっぱリフォームに熱量持ってる人はいいですかね。なんかね、こだわりとか、うん、なんか想いとか持ってる人、そういう人に向くんじゃないかな。

「あとはもうおまかせします」みたいな人は、ちょっと違いますよね。こだわりもって、本当にしっかりコミュニケーション取って、いろんなお互いの満足度を高めながらって感じで。

清水妻：あと河辺さんは、自分勝手な仕事をしないで、ちゃんと相手に寄り添って仕事をしてると思います。

ほら、なんかさ、「こうした方がいい」ってやっぱり自分のスタイルがあると押し付けてくる人もいるやんか。そういうのないので、全部、提案型で、私達がだんだんそっちに寄っていったこともあるかもしれないけど、ちゃんと相手の、どういうことをやってほしいかを最優先に考えてやってると思う。

河辺：僕もはなから「できません」っていうのは、簡単だけど非常に心苦しくなってしまうので、できるだけ言わないようにはしてるんですけども。

清水夫：信頼関係はそんな感じですよね。

つくり家工務店の 家づくりプロセス

1. ご相談・ヒアリング

～まずは「理想の暮らし」を一緒に描く時間～

お客様のライフスタイルや価値観をオープンにしていただきます。

使うツール：

- ✓ 家づくりヒアリングシート
- ✓ 好きなインテリア・暮らしのイメージ写真（ピントレストなど）

ヒアリング例：（雑談を交えながら）

- どんな時に「ホッとする」と感じますか？
 - 家族でどんな時間を大切にしたいですか？（朝食、休日、夜のくつろぎなど）
 - 好きな素材や色は？（木のぬくもり、白い壁、土っぽさ…）
 - これだけは譲れない！という希望は？（収納、広さ、窓の位置など）
- ご予算の目安や、ご不安に感じていることは？
- 基本仕様の概要を確認

ポイント：

「細かいことでも、なんでも話していいんだ」とお客様に思ってもらうのがゴールです。

2. 資金計画・土地探しサポート

～無理なく、でも納得のいくプランを～

無理のない資金計画づくりもサポート。「かけるべきところ・おさえるところ」と一緒に考えます。

サポート内容：

- ローン返済計画の相談（ライフプランと合わせたご提案）
- 補助金や税制優遇のアドバイス（例：こどもエコすまい支援事業など）
- 土地選びのポイントも現地同行してアドバイス

ポイント：

「家は建てられるけど、生活が苦しい」にならないように、安心感を持つていただく段階です。

3. 設計・プランニング

～あなたらしい「さりげなくカッコいい」をかたちに～

じっくり話し合い、お客様にとっての「本物の家」を形にします。

ご提案すること：

- 勾配天井、2階リビング、ロフトなど遊び心ある提案
- 「シンプルで長持ち」と「考え抜かれたオリジナル」を併せ持つ日当たり、風通しを考えた自然な間取り
- 家族のライフスタイル、将来を見据えた間取り
- メンテナンスしやすさを意識した提案

ポイント：

お客様の「本音」をしっかり拾い、プロとしての提案も添える。「ただ言われた通り」ではない、対話型の家づくり。

4. 仕様・素材決め・お見積り

～自然素材の心地よさを体感しながら～

コストパフォーマンスを意識しながら素材選びをしていきます。

例：

- 無垢の床材：スギ、ヒノキ、オーク…肌触りを比べて選べます
- 壁：珪藻土、漆喰、紙クロスなどから選択
- 断熱・気密・換気・耐震仕様：UA値0.3、C値0.3、耐震等級3の性能説明もわかりやすく
- お見積りは「正直・公平・わかりやすく」が基本です。

ポイント：

「自然素材って高そう、不安」という声に、具体的な金額と長持ちする理由をきちんと説明し、納得感を持っていただくステップです。

5. 契約・着工～お引渡し

～現場での安心感とワクワク感を～

お客様に積極的に現場に足を運んでいただき、施工状況を確認してもらいながら、チームの一員として私たちと一緒に家をつくっていることを体感してもらいます。

サポート内容：

- 着工前に「地鎮祭」実施
- 工事中はSNSで「現場日記」やグループLINEを設定し、進捗を共有
- 2週に1～2回の打ち合わせで、細かい変更にも対応
- 完成時に「使い方レクチャー」実施

ポイント：

「頼んだら終わり」ではなく、現場でも関わり続けていただき、完成が楽しみになる流れを作ります。

6. アフターサポート

～建ててからが、本当のお付き合い～

お引き渡し後も末永くお付き合いさせていただきます。

住まいに関わることはなんでも、まずは相談してください。

サポート体制：

- 定期的に訪問、無料点検
- 小さな不具合も「LINEひとつで即対応」
- 「暮らしの手入れ教室」などOB向けイベント開催

実例：

- 蜂の巣駆除もすぐ対応した実績あり
- 経年美化を楽しむためのオイル塗装教室を実施

ポイント：

「いつでも相談できる」「住んでからも成長する家」と感じてもらうことを大切にしています。

20年、30年後も「この家にしてよかった」と思えるように
あなたのペースで、一緒に、丁寧に。
つくり家工務店がずっとそばにいます。

よくあるご質問

Q1. 家づくりって、何から始めればいいかわからな いんですが……

大丈夫です。

まずは「自分たちがどんな暮らしをしたいのか」と一緒に整理するところから始めましょう。

難しく考えることではなく、何をしたいか？どんな雰囲気？将来はどうしたい？

と、家族のこれからと向き合ってみましょう。

つくり家工務店は、相談から施工まで、常に「顔の見える家づくり」を心がけています。

土地の状況、資金計画、設計の方向性まで、じっくり話し合いながら決めていきます。

Q2. 施工実績や経験はどのくらいありますか？

これまでに古民家再生やカナダでのログハウスの建築経験など、大工として約30年、さまざまなスタイルに携わってきました。

その経験を活かし、和風からモダンまで、幅広く提案ができます。型にはまらず、お客様の要望に寄り添った柔軟な設計が得意です。

Q3. 坪単価はどのくらいですか？

当社では坪単価による算出方法を使っています。

規格住宅とは違い、設計や仕様によって都度変わるためです。

それぞれのお客様に沿った家づくりであり、安さをウリにする家づくりはしていません。

使う素材や断熱性能、職人の手間を考えると、それなりの費用はかかります。

ただ、どこにいくらかかっているのかをきちんと説明すること大切にしています。見積もりについても、なんでも聞いてください。

Q4. 予算内で建てられますか？

最初に「何を優先するか」をしっかりと話し合います。

ご予算に合わせて、仕様や造作の優先順位を整理してご提案します。無理に押し付けたり、「あれもこれも」にはしません。

Q5. 地震や災害に強い家なんですか？

耐震等級は最高ランクの「等級3」を標準にしています。また、制震テープや制震ダンパーなど、必要に応じた強化も可能。「家族を守る家」として、目に見えない部分までしっかりと備えています。

Q6. 家を建てた後もフォローしてくれますか？

もちろんです。

家を建てて終わりではなく、建てた後からが、本当のお付き合いが始まると考えています。困ったことがあればすぐ駆けつけますし、定期点検も行っています。無駄のないメンテナンスを心がけています。

「家守り」として、長く付き合える工務店です。

20年後、30年後も 「この家でよかったです」と言えるように

家は、完成して終わりではなく、暮らしとともに育つ相棒です。
季節がめぐり、木が呼吸し、手入れの跡が味わいになる——。
つくり家工務店は、あなたの価値観に根を張った“本物の家”を、いっしょに育てていきます。

小さな違和感を見過ごさないこと。
心が「これだ」とうなずく瞬間を大切にすること。
その積み重ねが、帰りたくなる家、ずっと居たくなる家をつくります。

まずは、あなたの物語を聞かせてください。
ここから、家づくりがはじまります。

まずはご相談ください

家づくりの出発点は「話すこと」。
小さな疑問からで大丈夫です。お気軽にどうぞ。

ご来店（要予約） / オンライン（Zoom）
/ 出張相談（エリア応相談）
無料相談のご予約はこちら ►►► (QRコード)